

【お問い合わせ先】

キャタピラー

渉外・広報室

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1

TEL: 045-682-3804 FAX 045-682-3690

本資料はCaterpillar米国本社が2021年10月28日に発信したプレスリリースを日本語に翻訳し、みなさまのご参考に提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容については英語が優先します。

Caterpillar が 2021 年第 3 四半期業績を発表

- 売上高は25%増の124億ドル
- 1株当たり利益は2.60ドル、調整後1株当たり利益は2.66ドル
- 強固なバランスシート、配当と自社株買いによる計20億ドル相当の株主還元を実施
-

(単位：10 億ドル、但し 1 株当たり利益除く)	第 3 四半期	
	2021	2020
売上高	\$12.4	\$9.9
1 株当たり利益	\$2.60	\$1.22
調整後 1 株当たり利益	\$2.66	\$1.52

(イリノイ州ディアフィールド発) ——Caterpillar Inc. (NYSE: CAT) は本日、2021 年第 3 四半期の業績を発表しました。売上高は 124 億ドルで、99 億ドルだった前年同期に比べ 25%増加しました。これは、エンドユーザー需要の高まりや価格改定のプラスの影響により、販売台数が増加したことが主因となっています。

営業利益率は 13.4% (前年同期：10.0%)、1 株当たり利益は 2.60 ドル (前年同期：1.22 ドル)、調整後 1 株当たり利益は 2.66 ドル (前年同期：1.52 ドル) でした。この 2.66 ドルの調整後 1 株当たり利益には、力強い営業成績に加え、想定値を下回った税率の効果が反映されています。なお、今四半期および前年同期の調整後 1 株当たり利益からは、事業再構築費用が除外されています。さらに、前年同期の調整後 1 株当たり利益からは、年金債務支払い後の再測定による 1 株当たり 0.12 ドル分の損失も除外されています。GAAP 以外の財務測定値に対応する GAAP 測定値の調整については、付属資料 13 ページをご覧ください。*1

営業キャッシュフローは、本年9月末日までの9カ月間で58億ドルでした。結果、今四半期末の全社現金残高は94億ドルとなりました。また、今四半期は、14億ドル相当のCaterpillar普通株式の買い戻しと、6億ドル相当の配当金の支払いを実施しました。

Jim Umpleby（アンプレビー）会長兼CEOは、次の様に述べています。「世界中の社員が、引き続き『収益性の高い成長』に向けた長期的な自社戦略を実行しつつ、お客様へのサービス提供のためにサプライチェーン問題の緩和に尽力しています。今四半期の業績には、当社が事業展開する全地域と主要3セグメント全体で、売上が増加したことが反映されています」。

*1

<https://www.caterpillar.com/content/dam/caterpillarDotCom/releases/3q21/3q21-caterpillar-inc-financial-results.pdf>

以上

キャタピラー社について：

Caterpillar Inc.は、1925年以来お客様がより良い世界を構築できるよう支援してきました。持続可能な進歩を可能にし、すべての大陸で前向きな変化を推進しています。2020年の売上は417.5億ドルで、Caterpillarは建設及び採掘設備、ディーゼルおよび天然ガスエンジン、産業用ガスタービン、ディーゼル電気機関車の世界有数のメーカーです。製品ライフサイクル全体を通じて提供されるサービス、最先端のテクノロジー、および数十年にわたる製品の専門知識により、Caterpillarは他とは一線を画し、お客様の成功を支援する卓越した価値を提供します。同社は主に、建設業、資源産業、エネルギー・運輸の3つの主要セグメントを通じて事業を展開しており、金融商品セグメントを通じて金融及び関連サービスも提供しています。また、1963年以来、Caterpillar社は、半世紀以上にわたって、日本に重要な拠点を構えています。特に、主力製品である油圧ショベルの開発・製造をリードし、時代の先端を行く製品と技術を世界へ発信しています。